

学年	早期養成	単位数	1	時間数	16	対象	林業
科目	林業入門						
概要	森林・林業の基礎知識、林業で使用する単位や計算方法等について学ぶ。						
背景・目的	森林の多様な機能・役割、森林管理や施業技術の基礎を学び、その後の講義や実習などがスムーズに理解できるようにする。また、林業就業に向けた基礎的能力・基本姿勢を養う。						
到達目標	森林・林業の基本的な内容について理解し、森林・林業の魅力ややり甲斐を見出す。						

担当職員	・西満広 ・土屋浩志
進め方	講義主体に行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・森林・林業の基礎	・森林林業で使われる用語 ・地図、地形の基礎 ・林業算術（単位と計算）
2	講義	4	・世界・日本・島根県の林業	・森林・林業の現状と課題 ・森林の多面的機能
3	講義	4	・林業の仕事	・森林組合と民間事業者 ・森林の計画的な整備、人工林と天然林
4	講義	4	・安全作業の基本 * 1	・山仕事の環境、危険生物、服装・動作の基本 ・工具、道具の使い方
5				
6				
7				
8				
9				
10				

テキスト (教材)	「林業実践ブックー基礎技術と安全衛生」(全国林業改良普及協会)、作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
		80	10	10		
摘要	* 1 : 【要領 (別表1)】 (1) 林業労働安全 : 基本的な事項					

学年	早期養成	単位数	2	時間数	32	対象	林業
科目	森林経営Ⅱ						
概要	森林経営計画の基本的実務を習得し、森林組合の実例をもとに森林の集約化や施業方法、路網整備や林業経営の課題、対応策を学ぶ。						
背景・目的	県内事業体の森林経営に対する様々な考え方を知るとともに、実践されている森林経営計画・森林施業提案書について理解する。						
到達目標	森林経営計画及び森林施業提案書を作成し、林業経営の現状を理解する。						

担当職員	・西満広 ・原勇治
進め方	森林経営計画及び森林施業提案書を理解した後、林業事業体の林業経営を学ぶ。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・森林計画の基礎、森林に関する法制度	<ul style="list-style-type: none"> ・森林計画が必要とされる理由 ・森林計画の考え方と課題 ・森林の法令上の取扱い <ul style="list-style-type: none"> 各種制限林（森林法・自然公園法・文化財保護法等々） 伐採及び伐採後の造林の届出 保安林・林地開発許可制度 森林の土地の所有者届出制度
2	講義	4	・森林計画制度	<ul style="list-style-type: none"> ・森林・林業基本計画、全国森林計画、地域森林計画、市町村森林計画、森林経営管計画（各計画の趣旨や仕組みと役割） ・森林計画図、森林簿、林地台帳の見方
3	実習	4	・森林経営計画の実務 * 6	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐率の設定、搬出計画の作成 ・森林GIS等による情報収集と森林経営計画の作成
4	講義	4	・提案型集約化施業の意義と進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・提案型集約施業の意義 ・森林施業プランナーの役割 ・森林施業提案書のイメージ
5	講義	8	・作業システムと工程管理	<ul style="list-style-type: none"> ・作業システムとは ・生産性の考え方 ・工程管理の必要性
6	講義	8	・原価管理	<ul style="list-style-type: none"> ・提案型集約化施業における収支構造 ・損益分岐点売上高と年間必要事業量 ・森林施業提案書作成

テキスト (教材)	作成資料 森林施業プランナーテキスト 改訂版					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	40	40	10	10		
摘要	* 6 : 【要領(別表2)】3(2) UAV、GNSS・GIS等を習得する研修					

学年	早期養成	単位数	1	時間数	16	対象	林業
科目	森林計測 I (測樹)						
概要	森林の現況把握に必要な林分調査の方法や、調査結果の活用方法などの基礎知識を学ぶ。						
背景・目的	正確な林分調査ができるよう機器の基本操作などの知識・技術を習得し、調査結果の活用方法を理解する。						
到達目標	林分調査（毎木調査法・標準地調査法）を行うための計測技術と調査結果をまとめる方法を習得しており、その調査結果の活用方法を理解している。						

担当職員	・西尾大樹
進め方	講義及び森林等における実習により行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・測樹の目的と概要 ・胸高直径、樹高及び立木材積	・測樹の意義、測樹で使用される単位 ・胸高直径、樹高及び立木材積の求め方
2	実習	4	・胸高直径、樹高の測定	・胸高直径の測定方法（輪尺） ・樹高の測定方法（測高竿・ワイゼ式測高等）
3	講義	4	・林分調査	・林分調査（毎木調査法・標準地調査法）
4	実習	4	・林分調査	・毎木調査法・標準地調査法による測定 ・林分調査結果のとりまとめ

テキスト (教材)	作成資料、「森林経営」（実務出版株式会社）					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘 要
	80		10	10		
摘 要						

学年	早期養成	単位数	1	時間数	16	対象	林業
科目	森林計測 I (測量)						
概要	測量の目的、基礎知識及び林業経営に必要な周囲測量技術を講義と演習により習得する。						
背景・目的	正確な測量ができるよう機器の基本操作などの知識・技術を習得し、測量成果の活用方法を理解する。						
到達目標	ポケットコンパス・デジタルコンパスによる周囲測量を適切に行うことができる。						

担当職員	★小林幸平 ((株)ジツタ中国) ・西尾大樹
進め方	講義及び森林等における実習により行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・周囲測量①	・ポケットコンパスによる測量の概要 機器のしくみ、特徴、使い方、製図方法
2	実習	4	・周囲測量②	・ポケットコンパスによる測量の実務 対象林分の計測、測定結果の野帳整理、図面作成
3	講義	4	・周囲測量③ *6	・レーザーコンパスによる測量の概要 機器のしくみ、特徴、キャリブレーション、使い方、出力方法 ・GNSS (GPS) 、GISの概要
4	実習	4	・周囲測量④ *6	・レーザーコンパスによる測量の実務 対象林分の計測、測定結果のデータ整理、図面出力

テキスト (教材)	作成資料、「森林経営」(実務出版株式会社)					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	80		10	10		
摘要	*6 : 【要領(別表2)】3(2) UAV、GNSS・GIS等を習得する研修					

学年	早期養成	単位数	2	時間数	32	対象	林業
科目	木材利用Ⅱ						
概要	木材流通の現状を学ぶとともに、木質材料（合板、LVL、集成材、パーティクルボード等）の種類や用途、製造方法について学習する。						
背景・目的	製材以外にも合板やバイオマス発電等、木材を大量に供給する需要者があることについて理解する。また規格や品質について理解し、地域の需要に応じた仕分けができるようにする。						
到達目標	木材流通の現状について理解する。 木質材料・木質チップ等の利活用の現状及び加工方法について理解する。						

担当職員	★山形弘司（福波物産(有)） ・★伊藤賢一 ・土屋浩志
進め方	講義・実習及び製材工場等の視察により行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・丸太の見分け方 ・製材用丸太の木取り、軸組工法	・木材の欠点と要因 ・用途別の木取りと歩留り
2	実習	4	・丸太の仕分け ・選別と高価販売のポイント *4	・市場での仕分け方法、選別方法 ・採材とその評価
3	実習	8	・合板工場、大型製材工場 *4	・工場見学（島根合板、中国木材北広島工場）
4	実習	8	・CLT, LVL *4	・工場見学（鳥取CLT, オロチ）
5	実習	8	・プレカット、製材所、バイオマス *4	・工場見学（プレカット、製材所、バイオマス）
6				
7				
8				
9				

テキスト (教材)	作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	40	40	10	10	0	
摘要	*4：【要領（別表1）】2、マーケットインの発想による林業経営を習得する研修					

学年	早期養成	単位数	1	時間数	16	対象	林業
科目	木造建築						
概要	木造建築の歴史・工法・性能などの基礎知識と、実際の建築現場において木造建築の事例を学ぶ。						
背景・目的	伐採・搬出された原木が、どのように加工され、木造建築で活用されているかを理解する。 木造建築物の使用部材を知ること、保育施業の意義を再確認する。						
到達目標	木造住宅への木材の使われ方について理解する。						

担当職員	★中村正志（建築士）・土屋浩志
進め方	講義及び現地視察により行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	木造住宅の基礎材料	・部材の名称 ・構造・造作・下地に使用する樹種
2	講義	4	木造住宅の構造と特性	・工法（在来軸組・2×4・パネル等） ・木質環境と安全性（耐熱、耐震、調湿等）
3	実習	4	住宅建築	・様々な民間戸建て木造建築現場を見学し、現代における地域材利用のあり方を考える
4	実習	4	住宅環境	・古民家を改修した住宅展示場等を見学し、伝統的な木造建築技術について学ぶ
5				
6				
7				
8				
9				
10				

テキスト (教材)	作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	30	30	20	20	0	
摘要						

学年	早期養成	単位数	2	時間数	32	対象	林業
科目	林業機械Ⅰ・労働安全						
概要	林業機械を安全かつ効率的に利用するため、必要な知識や操作方法について学ぶとともに、事業者等が実施している労働災害防止の取り組みを理解する。						
背景・目的	林業機械の基礎を学ぶとともに、林業の労働災害の状況を理解して、安全意識の高揚に努める。						
到達目標	手工具、小型林業機械の取扱いや整備を理解するとともに、労働災害防止の取り組みを理解し、安全意識を高める。						

担当職員	★堀江由起夫 ((有)ホリエ) ・大塚 浩
進め方	講義及び森林内で実習 (KY活動を含む) を行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・機械化の歴史、必要性、種類	
2	実習	4	・手工具の取扱い	・鉋、鎌等の刃物の取扱い、刃物研ぎ ・トビ、鍬等の取扱い
3	講義	4	・林業労働災害の現状、分析 *1	・前年度労働災害の傾向と分析 ・労働災害事例から考える防止対策
4	実習	4	・危険予知トレーニング、ヒヤリハット ・林材業におけるリスクアセスメント ・作業計画の作成 *1	・グループでのKY、リスクアセスメント討議 ・専攻実習で行う実習現場の作業計画を作成
5	講義	4	・エンジン構造と燃料 ・機械メンテナンス (基礎)	・エンジンの種類と構造、それぞれの燃料の違い ・刈払機の構造とメンテナンス、目立て
6	講義	4	・機械メンテナンス (基礎)	・チェーンソーの構造と目立て
7	実習	4	・機械メンテナンス (基礎)	・ソーチェーンの目立て
8	講義	4	・機械メンテナンス (基礎)	・高性能林業機械等のメンテナンス(日常、月例)

テキスト (教材)	「チェーンソー作業の安全ナビ」 (林業・木材製造業労働災害防止協会)、作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	80		10	10		
摘要	*1:【要領 (別表1)】 (1) 林業労働安全: 基本的な事項					

学年	早期養成	単位数	2	時間数	32	対象	林業
科目	林業機械Ⅱ						
概要	コストを意識し、それぞれの現場に即した作業システムによる木材生産を学ぶ。						
背景・目的	安全を最優先にしたうえで、生産性及び生産コストの意識を高める。						
到達目標	コスト意識を高める。						

担当職員	★住田義則（中国林機(有)）・大塚 浩
進め方	講義及び森林内における実習により行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	8	・高性能林業機械	・高性能林業機械の種類、特色等 ・生産コスト
2	見学	8	・高性能林業機械見学	・タワーヤード、フェラーバンチャザウルス等
3	講義	8	・路網と作業システム * 7	・路網と作業システムの関係性 ・作業システムの基礎知識、作業システム事例
4	講義	8	・最新の林業機械	・最新の林業機械に関する研究報告

テキスト (教材)						
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	80		10	10		
摘要	* 7 : 【要領(別表2)】3(3)地域の主な作業システムで用いる高性能林業機械に関する技術を習得する研修					

学年	早期養成	単位数	2	時間数	32	対象	林業
科目	伐木技術						
概要	安全な伐木のための作業方法及び機械整備等について理解する。						
背景・目的	林業現場で重大事故が多く発生しているチェーンソーについて、安全作業を重点的に学ぶ。						
到達目標	チェーンソーを安全に使用するためのポイントを理解する。						

担当職員	★大高賢二 ((株)きこり) ・大塚 浩
進め方	講義及び機械訓練場・森林等における実習により行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・安全装備のチェック ・チェーンソー操作の基本 * 3	・安全なチェーンソー作業のための装備、操作方法
2	実習	8	・基本操作実習 (伐倒練習機) * 3	・チェーンソー操作の基本姿勢と水平切り
3	実習	8	・基本操作実習 (伐倒練習機) * 3	・受け口、追い口の作り方
4	実習	4	・基本操作実習 (伐倒練習機) * 3	・伐倒方向の定め方、修正方法
5	実習	8	・基本操作実習 (実習林)	・実習林での伐倒、かかり木処理

テキスト (教材)	作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘 要
			10	10	80	実技
摘 要	* 3 : 【要領 (別表1)】 (1) 林業労働安全 : 伐木・造材に係る研修 (最新装置の活用)					

学年	早期養成	単位数	2	時間数	32	対象	林業
科目	森林路網						
概要	路網整備の考え方を学ぶとともに、森林作業道の路線選定や開設方法を習得する。						
背景・目的	低コスト木材生産のためには、路網整備が重要である。とともに、壊れにくい路網整備を行う必要がある。						
到達目標	路網の必要性や路網の種類などを理解し、路線選定の手順を覚えるとともに基礎的な開設方法を理解する。						

担当職員	★鹿田保生（島根県林業公社） ・大塚 浩
進め方	講義、実習、見学並びに専攻実習において進める。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	8	・路網整備の基礎知識	・森林作業道作設指針等
2	講義・実習	4	・路線選定	・机上による路線選定
3	講義・実習	8	・路線選定	・現地踏査
4	実習	8	・路線計画	・路線計画の作成、FRDの活用
5	講義	4	・森林作業道の開設方法	・森林作業道の開設方法について
6				

テキスト (教材)	作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘 要
		80	10	10		
摘 要						

学年	早期養成	単位数	2	時間数	32	対象	林業
科目	育林技術 I						
概要	育林の目的や目的に応じた施業方法について、基本的な知識と技術を習得する。						
背景・目的	林業に必要な森林の基礎を学び、科学的根拠に裏付けされた正しい作業方法について理解したうえで身につけることを目的とする。						
到達目標	育林の基礎知識や単層林の造林方法について理解する。						

担当職員	・原 勇治
進め方	講義及び森林内における実習により行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・林木の特性	・樹木とは ・樹木の識別 ・日本の主要な樹木
2	講義	4	・林木の生育と環境	・林木の成長 ・林木の生育に関わる環境因子
3	講義	4	・森林の育成② * 5	・森林の伐採、更新方法 ・地ごしらえの手法 ・植栽配置、植栽密度、植付け方法 ・獣害対策 ・雪起こし
4	実習	4	・森林の育成② * 5	・地拵え作業、棚の作り方 ・裸苗の植え付け方法
5	講義	4	・森林の保育①	・下刈り、つる切り、除伐の作業目的、方法
6	実習	4	・森林の保育①	・下刈り作業の流れ、作業中の注意点
7	講義	4	・森林の保育②	・枝打ち、保育間伐の作業目的、方法
8	実習	4	・森林の保育②	・枝打ちの道具の使い方

テキスト (教材)	「森林科学」(実教出版株式会社)、「林業実践ブック」(全国林業改良普及協会)、作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	80	0	10	10	0	
摘要	* 5 : 【要領(別表2)】3(1) コンテナ苗、低密度植栽、一貫作業システムを習得する研修 ・専攻実習 : 116h					

学年	早期養成	単位数	2	時間数	32	対象	林業
科目	育苗技術						
概要	普通苗、コンテナ苗の育苗技術を習得するため、苗畑における一連の作業を体験する。						
背景・目的	造林用苗木の生産者が減少しているなか、確実な再造林を実施するために必要な優良苗木を安定して生産する技術を理解する。						
到達目標	普通苗の育苗技術を習得するとともに、コンテナ苗生産の概要を理解する。						

担当職員	・緑化センター職員 ・大場寛文
進め方	講義、実習による苗木育成をとおして、育苗技術を理解する。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・育苗技術の概要	・林業種苗法、林木の育種、優良苗木の条件 ・育苗方法、主要な病虫害
2	実習	4	・普通苗の生産	・実生苗、挿木苗の生産現場見学・作業体験
3	講義	4	・コンテナ苗の概要 * 5	・コンテナ苗の特徴 ・育苗方式
4	実習	4	・コンテナ苗の生産（培土、播種） * 5	・培土づくり、播種
5	実習	8	・生産実習	・生産現場の作業体験（緑化C）
6	実習	8	・育苗管理（視察見学）	・生産現場見学（森林組合、三瓶樹苗）

テキスト (教材)	「山行苗生産技術マニュアル」(島根県林業種苗協同組合)、「スギ・ヒノキのコンテナ苗生産の手引き」(島根県中山間地域研究センター)、「講習会テキスト 林業種苗の生産・配布に必要な知識」(全国山林種苗協同組合連合会)、「森林科学」(実教出版株式会社)、作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	80		10	10		
摘要	* 5 : 【要領(別表2)】3(1)コンテナ苗、低密度植栽、一貫作業システムを習得する研修					

学年	早期養成	単位数	1	時間数	16	対象	林業
科目	森林保護						
概要	森林における病虫害獣害について、その防除方法、対処方法について学ぶ。						
背景・目的	健全な森林造成のため、病虫害獣害による森林被害について理解する。						
到達目標	代表的な病虫害獣害による森林被害の特徴及びその防除法を理解する。						

担当職員	・澤田誠吾 ・田川哲 ・鈴木香菜 ・庄司優太 ・大場寛文
進め方	講義及び実習により行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・森林病害虫の概要 ・林木の病虫害の診断と防除	・被害とは、病害虫名の判定、防除方法 ・林木の病虫害（スギ腐朽病、ヒノキ漏脂病、ナラタケ病、スギドクガ、マツカレハ、スギカミキリなど） ・マツ材線虫病（松くい虫） ・ブナ科樹木萎凋病（ナラ枯れ）
2	実習	4	・松くい虫（及びナラ枯れ）被害木駆除	・松くい虫（及びナラ枯れ）被害木の診断 ・被害木の伐倒、くん蒸処理
3	講義	4	・野生鳥獣被害の診断と防除	・野生鳥獣による被害と対策 ・二ホンジカ、クマ、ウサギ、ネズミ
4	実習	4	・再造林における鳥獣対策	・現場見学（二ホンジカの被害対策）

テキスト (教材)	「狩猟読本」（大日本猟友会）、「冊子鳥獣被害診断と防除マニュアル」（島根県農林水産部）、関係資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	80		10	10		
摘要						

学年	早期養成	単位数	17	時間数	522	対象	林業
科目	専攻実習Ⅲ						
概要	各科目の学科等で学んだことを現地で実践する。						
背景・目的	林業技術の向上と経営能力を養う。						
到達目標	基礎的技術を身につける。						

担当職員	林業科スタッフ等
進め方	教室内での演習、先進地等の視察、森林等における実習で行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	実習	38	・造林・育林 * 2	・地拵え、植栽(樹種、苗区分：裸苗・コンテナ苗)、下刈り、雪起こし、除伐、枝打ち
2	実習	40	・伐倒・造材 * 3	・VRチェンソーシミュレータ、伐倒練習機、間伐(保育・利用)、主伐(皆伐)、枝払い、玉伐り、ハーベスタVRシミュレータ、
3	実習	48	・搬出・運搬 * 3(32)、* 7(16)	・ハーベスタ、スイングヤード、フォワーダ、集材機、簡易集材機(引っ張りだこ等)
4	実習	16	・機械等メンテナンス * 1	・ソーチェン目立て、刈刃目立て、鉋研ぎ、高性能林業機械メンテナンス
5	実習	8	・ワイヤースプライス	ショートスプライス、(セミ)ロングスプライス、アイスブライス
6	実習	8	・測樹 * 6	・樹高測定(使用器具：測高棒・ブルーメイス等)、直径測定(輪尺・巻尺)、OWL、標準地調査、毎木調査、ドローン操作・データ分析、OWL計測・データ分析
7	実習	8	・測量 * 6	・周囲測量、水準測量、路線測量(作業道)、測量結果整理：手計算・図面作成、PC処理(アル、アシスト等)
8	実習	16	・森林作業道	・路線測量、土工(ミニバックホウ)
9	実習	8	・見学・視察	・各区分毎(「育林」、「伐採・搬出」、「林業機械」、「木材加工・利用」等)の見学・視察
10	学科実技	332	・資格取得(15)	・安全教育(刈払機)、特別教育(小型車両系建設機械等)、技能講習(玉掛等)、林業架線作業主任者免許講習、普通救命講習

テキスト(教材)	作成資料					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
			40	20	40	技能
摘要	* 1 : 【要領(別表1)】(1) 林業労働安全：基本的な事項 * 2 : 【要領(別表1)】(1) 林業労働安全：造林・育林に係る研修 * 3 : 【要領(別表1)】(1) 林業労働安全：伐木・造材に係る研修(最新装置の活用) * 5 : 【要領(別表2)】3(1) コンテナ苗、低密度植栽、一貫作業システムを習得する研修 * 6 : 【要領(別表2)】3(2) UAV、GNSS・GIS等を習得する研修 * 7 : 【要領(別表2)】3(3) 地域の主な作業システムで用いる高性能林業機械に関する技術を習得する研修					

学年	早期養成	単位数	10	時間数	332	対象	林業
科目	専攻実習Ⅲ（資格取得）						
概要	労働安全関係の各種法令に基づく内容及び時間数とする。						
背景・目的	機械を安全に使用するための知識・技術を習得する。						
到達目標	各種機械の安全な使用方法を理解する。						

担当職員	★住田義則（中国林機） ★宮崎篤（伸和産業） ★伊藤進（原商） ★高橋貴臣（原商） ★外部講師 ・林業科スタッフ
進め方	講義及び実習並びに各種資格の講習を受講する。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	学科	8	・小型車両系建設機械特別教育 ※1	・小型車両系建設機械の走行に関する装置の構造・取扱い及び作業方法に関する知識
	実習	8		・小型車両系建設機械の走行の操作・小型車両系建設機械の作業のための装置の操作
2	学科	4	・刈払機取扱者安全衛生教育 ※1	・刈払機作業に関する知識・振動障害及びその予防に関する知識
	実習	4		・刈払機の取扱い・作業の方法・刈払機の点検、整備の方法等
3	学科	12	・伐木等業務特別教育 ※1	・伐木等作業に関する知識・振動障害及びその予防に関する知識・チェーンソーに関する知識
	実習	12		・伐木の方法・チェーンソーの操作・チェーンソーの点検及び整備
4	学科	8	・不整地運搬車運転技能講習 ※2	・不整地運搬車の走行に関する装置の構造・取扱い及び作業方法に関する知識
	実習	8		・不整地運搬車の走行の操作・不整地運搬車の作業のための装置の操作
5	学科	56	・林業架線作業主任者免許講習 ※1 ・機械集材装置運転業務特別教育 ※1	・機械集材装置及び運材索道に関する知識・林業架線作業に関する知識及び力学に関する知識
	実習	56		・主索の安全係数の点検・鋼索の止め方及びつぎ方・点検・荷掛荷外し・重量目測
6	学科	16	・車両系建設機械運転技能講習 ※1	・車両系建設機械の走行に関する装置の構造・取扱い及び作業方法に関する知識
	実習	8		・車両系建設機械の走行の操作・車両系建設機械の作業のための装置の操作
7	学科	8	・伐木等機械の運転業務に係る特別教育 ※1	・伐木等機械に関する知識・伐木等機械に関する操作方法
	実習	8		・伐木等機械の走行の操作・伐木等機械の作業のための装置の操作方法
8	学科	4	・走行集材機械の運転業務に係る特別教育 ※1	・走行集材機械に関する知識・走行集材機械に関する操作方法
	実習	8		・走行集材機械の走行の操作・走行集材機械の作業のための装置の操作
9	学科	4	・簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転業務に係る特別教育 ※1	・簡易架線集材装置の集材機及び架線集材機械に関する知識、操作方法
	実習	8		・架線集材機械の走行の操作・簡易架線集材装置の作業のための装置の操作
10	実技	4	・救命講習1 ※3	・手当の基本、一次救命措置、気道内異物除去、AEDの使用法
11	学科	16	・フォークリフト運転技能講習 ※1	・フォークリフトに関する知識 ・フォークリフトの操作方法
	実技	16		・実技会場での実技講習
12	学科	8	・狩猟免許（わな）	・鳥獣保護法の概要、鳥獣の保護及び管理に関する知識、 猟具の取り扱いに関する知識、鳥獣に関する知識
13	学科	16	・小型移動式クレーン運転技能講習 ※1	・小型移動式クレーンに関する知識及び運転に必要な力学、電気に関する知識
	実技	8		・実技会場での実技講習
14	学科	8	・林業種苗生産事業者講習会	・林業種苗に関する法令・種苗の産地及び系統、種苗の生産技術に関する事項
15	学科	8	・玉掛け技能講習 ※1	・玉掛けに必要な力学・玉掛けの方法
	実技	8		・実技会場での実技講習

テキスト (教材)	「林業架線作業主任者テキスト」（林材業労災防止協会発行）、「車両系建設機械運転者教本[整地・運搬・積込み用及び掘削用]」（建設業労働災害防止協会発行）、「車両系林業機械安全マニュアル」（林材業労災防止協会発行）、「チェーンソー作業の安全ナビ」（林材業労災防止協会発行）、「安全な刈払機作業のポイント」（林材業労災防止協会発行）					
評価基準	1. 定期試験 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
			50		50	資格取得
摘要	※1 内部実施 ※2 場所：中山間C，講習機関：株式会社MSTC ※3 場所：中山間C，講習機関：雲南消防署					

学年	早期養成	単位数	2	時間数	64	対象	林業
科目	実践型総合学習						
概要	農林大学校で学んだ知識、技術を生かし、収穫のための調査、計画、伐木、造材等の一連の工程を実践する。先進的な林業技術を視察し、その特徴を理解することにより、本県林業の振興につなげる。						
背景・目的	同一林分で一連の工程を実践することで、知識、林業技術の向上と経営能力を総合的に養う。先進的・特徴的な林業技術に関する知識や技術を理解し、将来の地域林業をリードする資質を養う。						
到達目標	経営能力や安全衛生を踏まえた実践的な林業技術を総合的に習得し、収穫と生産性向上への意識を高める。先進的・特徴的な林業技術に関する知識や技術を理解し、今後の森林管理・整備等を進めるための視野を広げる。						

担当職員	・土屋浩志 ・原 勇治
進め方	同一林分で調査、計画、伐木、造材等の実習を行う。 森林・林業・環境機械展示実演会視察：県外視察

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	講義	4	・調査、計画	・実習エリアの設定、収穫予想
2	実習	12	・測量、標準地調査、選木等 ・作業計画作成	・作業計画作成にかかる事前調査 ・簡易リスクアセスメントの実施 ・実習エリアの設定、収穫予想
3	実習	24	・伐木、造材技術と生産性の向上	・実習林での伐木、造材、検寸 ・ヒヤリハット事例の検証
4	実習	16	・視察研修	・森林・林業・環境機械展示実演会視察
5	講義	8	・視察報告（レポート作成）	・レポート作成
6				
7				
8				
9				
10				

テキスト (教材)						
評価基準	1. 学習終了 (%)	2. レポート (%)	3. 出席 (%)	4. 実習態度 (%)	5. その他 (%)	摘要
	40	40	10	10		
摘要						

学年	早期養成	単位数	10	時間数	328	対象	林業
科目	林業事業体実践研修						
概要	農林大学校で学んだ知識、技術の成果を踏まえ、林業事業体での実務を経験する。						
背景・目的	現場に即した実践的な知識や技術を経験・習得するとともに、現場作業員との連携した安全かつ効率的な作業方法を習得する。						
到達目標	実践的な技術を身に付けるとともに、林業で働くイメージを明確にして就業意欲を高める。						

担当職員	・土屋浩志 ・大塚 浩
進め方	所属する事業体又は就職を希望する林業事業体において、実践的な研修を行う。

授業計画	授業形態	時間数	テーマ	講義内容
1	実習	96	林業事業体での基本技術の確認	1月～3月
2	実習	112	林業事業体現場での技術の応用	1月～3月
3	実習	120	林業事業体での実践及び作業員との連携	1月～3月

テキスト (教材)						
評価基準	1. 学習終了 (%)	2. 報告会 (%)	3. 報告書 (%)	4. 事業体評価(%)	5. 訪問職員評価 (%)	摘 要
	80		20			
摘 要						